

第48期 ビジネスレポート

2023年7月1日▶2024年6月30日

株主の皆さまへ	1
連結決算ハイライト	3
セグメント別業績	4

特集

安全運転支援サービス「D-Drive」	5
従業員の安全を見守るサービス 「Work Mate」	7
株式情報	9
会社情報	10

株主の皆さまへ



代表取締役社長 **大内 雅雄**

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社及びユビテックソリューションズは、2022年6月期を初年度として、4カ年の中期経営計画「ユビテック4.0」を推進しています。本中期経営計画では従来から保有するIoTテクノロジーに加え、AI・データ活用をコア技術の柱とした新たなビジネスモデルへの転換を図っています。

初期2カ年では、中期経営計画の「着実な実行とエクスパティーズ^{*}向上」を掲げ、事業ポートフォリオの見直しと基礎開発を進めてまいりました。また3年目となる2024年6月期には、新たな事業ポートフォリオに基づき、エクスパティーズ強化とサービスの価値向上を実現するため、「Work Mate」「D-Drive」「カーシェア関連事業」へ経営リソースの集約を行いました。

今後は、集約した主力3サービスについて、機能のブラッシュアップを図るとともに、エクスパティーズを結

集した事業間連携により、お客さまに一气通貫で付加価値の高い安全支援サービスを提供してまいります。また、各パートナー企業さまとの連携を強化し、社会実装のスピードを上げていくこと、さらにオープンイノベーションによって新たな社会価値の芽を発掘し育成することに努めてまいります。

*エクスパティーズ=専門的技術

■「ユビテック4.0」主力サービスの進展と今後の展開

「Work Mate」では、提供価値の柱としている熱中症予兆検知機能及び不安全行動の予兆を検知する機能の精度向上を進め、現場事故の過半数をカバーする危険予知サービスに拡充しました。これにより、労災事故の発生検知にとどまらず、データから予兆状態を捉えて、早期の行動変容を促し、未然防止を支援しています。2021年1月のリリース以降、たゆみないユーザビリティ拡充を推進していること、ならびに積極的なプロモーション活動とユーザーニーズの拡大がマッチして、大手製造企業・建設企業を中心に導入企業数が着実に増加し、労災予防の市場拡大へと歩み続けています。今後はさらにターゲットを広げ、「D-Drive」とサービス連携し、ドライバーをターゲットとした指標開発を進めてまいります。

「D-Drive」では、酒気帯び確認と運転日誌をクラウドで一括管理する機能を提供してまいりましたが、2023年9月に、カーシェアリング事業で培った技術を応用した新車載機ならびにデジタルキー発行システムを開発し、アルコールチェックをクリアしない場合に車両のエンジンを始動できないようにする「アルコール・インターロック」機能を提供開始しました。これにより、

さらなる厳格な法令遵守による飲酒運転防止を支援しています。今後は、「Work Mate」との連携によるドライバー体調変化や異常気象警報など、交通事故の危険因子となる様々なデータと連携し、インターロック技術によって高度に安全運転を支援する統合サービスへと発展させていきます。

■2024年6月期業績

2024年6月期の主な活動といたしましては、カーシェアリング車載機の継続受注に加え、「Work Mate」及び「D-Drive」では引き続きWEBマーケティング及びウェビナーなどによる情報発信や展示会への出展等を通じた積極的な広報活動にて、新規顧客の獲得に取り組みました。また「Work Mate」では、化学工業や石油精製等のプラントなどに向けた防爆対応システムを第3四半期より販売開始し、新規顧客への導入が進んでいます。「D-Drive」では、「アルコール・インターロック」機能をより多くの事業者に活用頂けるようアップデートを行い、他社のアルコールチェックサービスとの連携も開始しました。

注力サービスへの転換は着実に進み、当該IoT事業の売上高はテレマティクス車載機出荷停止による保守売上減少分を「Work Mate」及び「D-Drive」の実績増加がカバーし、売上高は増収となりましたが、利益面につきましては、売上構成の変化による利益率低下及び宣伝広告費の増加等により、損失幅は前年同期より拡大しました。また、従来の主力製品であった紙幣鑑別センサモジュール、通信アミューズメント機器は市場環境の変化による需要減少の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は1,016百万円（前年同期比3.1%増加）、営業損失は245百万円（前年同期は営業損失226百万円）、経常損失は244百万円（前年同期は経常損失228百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は344百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失289百万円）となりました。また、2024年6月期の期末配当については、現状の業績を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、無配とさせて頂くことといたしました。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう、エクスパティーズを結集し、主力サービスの成長を加速させて業績の改善に努めてまいります。

■サステナビリティ方針の進捗

当社及びユビテックソリューションズでは、2023年6月にサステナビリティ基本方針を策定し、課題解決と目標達成に向けた各種取り組みを進めています。「Work Mate」、「D-Drive」とともにサービスを提供しているお客さまからの事故発生の報告はなく、「Work Mate」では行動変容からの熱中症対策、「D-Drive」ではアルコールチェックの実施による交通事故防止へ繋がっています。

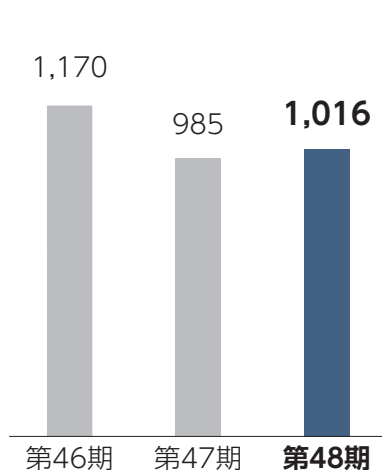
今後も事業活動を通じて、お客さまの安全と健康の実現を支援し続けることで、サステナブルな企業経営の実現と社会の発展に貢献してまいります。

何卒、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

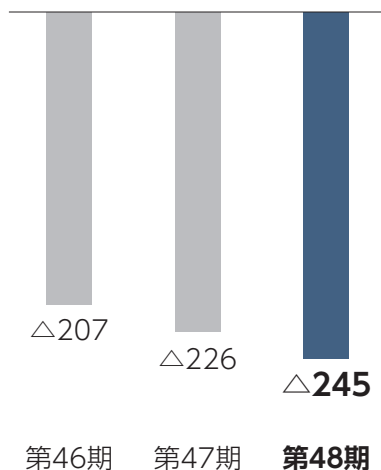
■ 売上高

(単位:百万円)



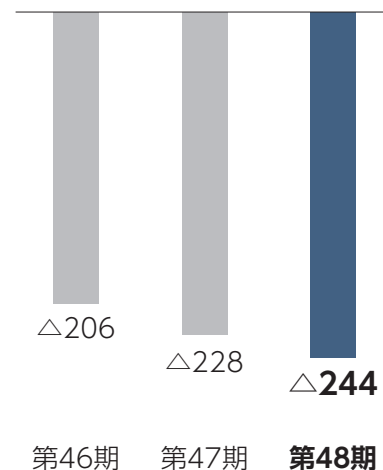
■ 営業損失(△)

(単位:百万円)



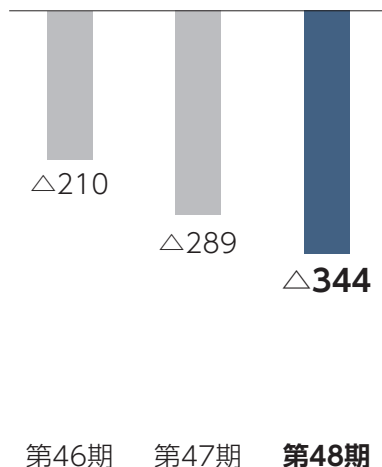
■ 経常損失(△)

(単位:百万円)



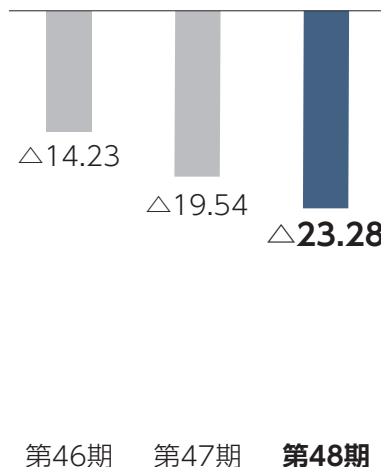
■ 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)

(単位:百万円)



■ 1株当たり 当期純損失(△)

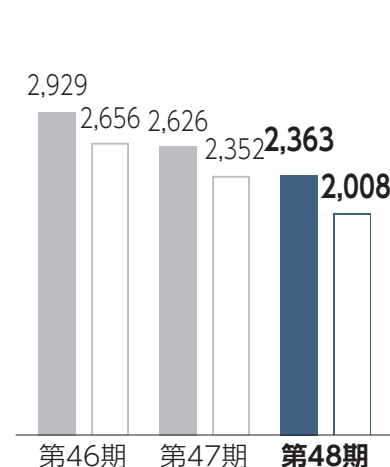
(単位:円)



■ 総資産／純資産

(単位:百万円)

■ : 総資産 □ : 純資産

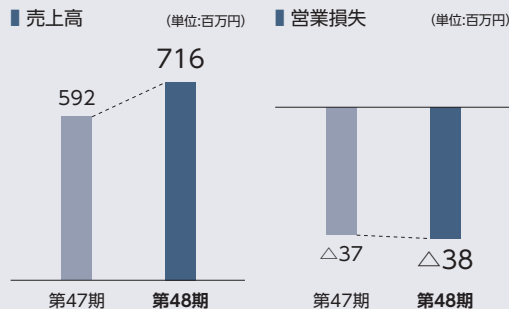


セグメント別業績

IoT事業

IoT事業は、テレマティクス車載機出荷停止による保守売上減少分を「Work Mate」及び「D-Drive」の実績増加がカバーし、売上高は増収となりましたが、利益面につきましては、売上構成の変化による利益率低下及び宣伝広告費の増加等により、損失幅は前年同期より拡大しました。

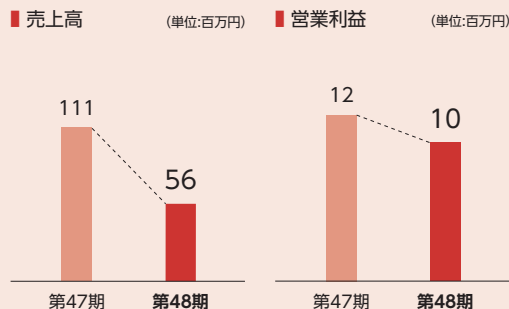
この結果、当連結会計年度の売上高は716百万円（前年同期比21.0%増加）、営業損失は38百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。



製造受託事業

製造受託事業は、新規の量産案件として、前第3四半期より医療業界向けに咬合力計測機器用回路基板の販売を開始しており、業績に寄与しておりますが、従来の主力製品であった紙幣鑑別センサモジュールの市場環境の変化による需要減少の影響が大きく、売上高、営業利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

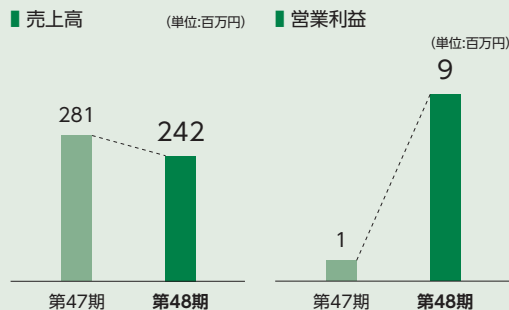
当連結会計年度の売上高は56百万円（前年同期比49.3%減少）、営業利益は10百万円（前年同期比22.1%減少）となりました。



開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、医用分野における受託開発案件規模縮小の影響により、売上高は減収となりましたが、前連結会計年度から継続して取り組んでいる業務効率化効果により、営業利益は前年同期より増加いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は242百万円（前年同期比13.6%減少）、営業利益は9百万円（前年同期比639.6%増加）となりました。



安全運転支援サービス「D-Drive」

「D-Drive」は、2022年から提供している、企業の車両管理に対応した安全運転支援サービスです。運転前後のアルコールチェックの記録、車両を利用した際に記録する運転日誌をスマートフォンアプリで簡単に記録を作成することができます。2023年からは、ユビテックのカーシェアリング事業で培った技術を応用した新車載機を開発し、アルコールチェックを行わないとエンジンが始動できないアルコール・インターロック機能のオプションでの提供を開始しました。

▶ アルコール・インターロックの機能で、飲酒運転撲滅に貢献

「アルコール・インターロック」は、アルコールチェックをクリアした後に、D-Driveクラウドシステムが発行するデジタルキーを用いてエンジンロックを解除する機能です。車の物理的な鍵のみでは、エンジンがかからないため、アルコールチェックの徹底と、車両の盗難防止にも繋がります。

本車載機は、車種に依存しないため、車両を入れ替える際にも再購入不要で取り付け可能です。



※取り付けには、別途取り付け技術料と、部品等が必要になった場合にはその費用が発生いたします。

▶ アルコール・インターロックの要素技術と実績

アルコール・インターロックは、車載機によって車を制御する技術、及びクラウド認証によるデジタルキーの発行技術のふたつを組み合わせたものです。

車載機については、ユビテックが長年カーシェアリング事業で培った技術を応用しており、15年以上にわたり、14万台以上の開発・運用実績があり、国内全メーカーの全車種に対してガソリン、EVなどのエネルギー種別を問わず装着対応が可能となっています。



▶ アルコール検知器協議会、検知器メーカー、クラウドサービス事業者各社との連携

アルコール・インターロックを広く普及させるため、検知器認定制度を運営しているアルコール検知器協議会と連携し、認定を受けた検知器及びクラウドサービス事業者各社との連携開発を進めています。

▶ 総務省後援のアワードで賞を獲得

「D-Drive」は、総務省後援「第17回 ASPICクラウドアワード2023」にてIoT部門で「社会貢献賞」を受賞いたしました。

B to B AI・データソリューション 従業員の安全を見守るサービス「Work Mate」

「Work Mate」は、2019年から提供をしている、スマートウォッチとクラウドシステムで製造現場や建設現場などで働く作業員の安全と健康を、遠隔から見守ることができるサービスです。IoTとAIを活用することで、作業員一人ひとりの状態をリアルタイムで分析します。2022年に不安全行動の予兆を検知する機能を新たに追加しました。2023年には防爆エリア（Zone1,Zone2）での利用を可能にしたことに加え、工場設備の異常を作業員のウォッチに知らせる機能を加えるなど、たゆみない機能拡充を推進していること、ならびに積極的なプロモーション活動がユーザーニーズとマッチして、大手製造企業・建設企業を中心に導入企業数が着実に増加し、労災予防の市場拡大へと歩み続けています。

(次項で機能拡充内容の詳細をご紹介します。)

ユーザービリティの拡充

1. 不安全行動の予兆を検知する機能を開発

近年、労働災害の死傷者数は上昇傾向にあり、効率化による省人化、人手不足などを背景に労働安全管理の高度な対策が急務となっています。「Work Mate」では、不安全行動やヒヤリ・ハットを引き起こす「注意力低下状態」に着目し、注意力が低下している状態を検知し、注意喚起を行う機能を追加いたしました。「Work Mate」では、過度な疲労や睡眠不足などによって副交感神経をはじめとする身体休息機能が発動すると、心拍数の低下とともに覚醒度が低下し、注意力低下状態になることに着目し、スマートウォッチから取得するパルスと活動状態（加

画面イメージ

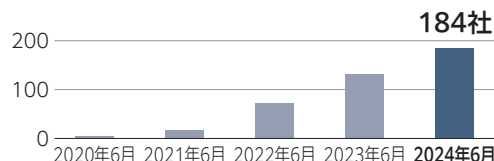
体調変化の表示



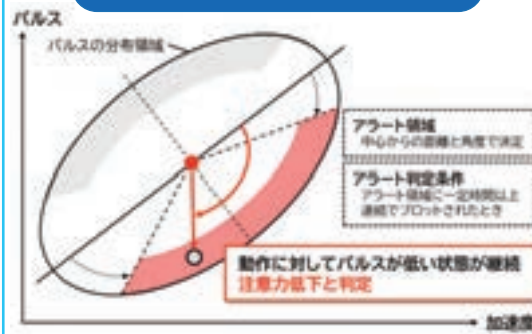
顔のマークが変化

	正常
	注意
	異常
	熱中症予兆検知

「Work Mate」のべ導入社数



注意力低下検知のアルゴリズム概要



速度の変動)を組み合わせ、「注意力低下状態」を検知するアルゴリズムを開発しました。これにより、作業者本人の行動変容、及び作業者への見守り強化や配置転換などによる現場改善を促し、労災事故の未然防止を目指します。



2. 防爆エリア (Zone1,Zone2) で利用が可能に

i.safe MOBILE社製のスマートウォッチ「IS-SW1.1」が、2023年12月4日にZone1対応のスマートウォッチとして初めて国内防爆検定に合格するのにあわせて、ユビテックで進めていた「IS-SW1.1」及び防爆対応のゲートウェイ機器用の「Work Mate」の開発も完了し、防爆エリアで利用可能となりました。これに伴い防爆エリアでも、標準の「Work Mate」と同様に、「熱中症予兆検知」「注意力低下検知」「疲労レベル検知」「転倒・転落検知」「SOSアラート通知機能」などの機能の提供が可能となりました。



3. 工場設備の異常を 作業者のスマートウォッチに知らせる機能の追加

設備の停止時間の短縮及び作業者の安全確保のためには、工場設備の異常をいち早く検知することが必要です。現状の工場設備の異常通知方法について「Work Mate」をご利用されているお客さまにヒアリングしたところ、(1) 設備ごとに警報が設置されており、設備の特定に時間がかかる、(2) 管理室以外で通知の確認ができない、(3) 警報の発生時に各作業者の作業場所を瞬時に把握して対応指示する手段がない、などの課題があることがわかりました。「Work Mate」と設備異常の情報を連携することで、作業者は「どの設備に異常があるか」を装着しているスマートウォッチで即時に確認ができます。また、管理者は「Work Mate」で作業者の位置情報を確認できるため、対応の指示をスムーズに行えます。

▶ 2年連続で総務省後援のアワードで賞を獲得

「Work Mate」は、総務省後援「第16回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2022」にてAI部門で「働き方改革賞」を受賞。「第17回 ASPICクラウドアワード2023」ではAI部門で「準グランプリ」を受賞いたしました。

◇ 「Work Mate」は、医療機器ではなく、疾病の診断、治療、予防を目的としておりません。

株式情報 (2024年6月30日現在)

■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
オリックス(株)	8,527,200	57.64
糸谷 輝夫	616,700	4.16
(株)DMM.com証券	322,600	2.18
後和 信英	305,300	2.06
GMOクリック証券(株)	286,500	1.93
綾部 利華	214,100	1.44
叶 毓菁	185,000	1.25
岩井コスモ証券(株)	176,400	1.19
楽天証券(株)	159,800	1.08
日本証券金融(株)	153,300	1.03

■ 株式の状況

発行可能株式総数

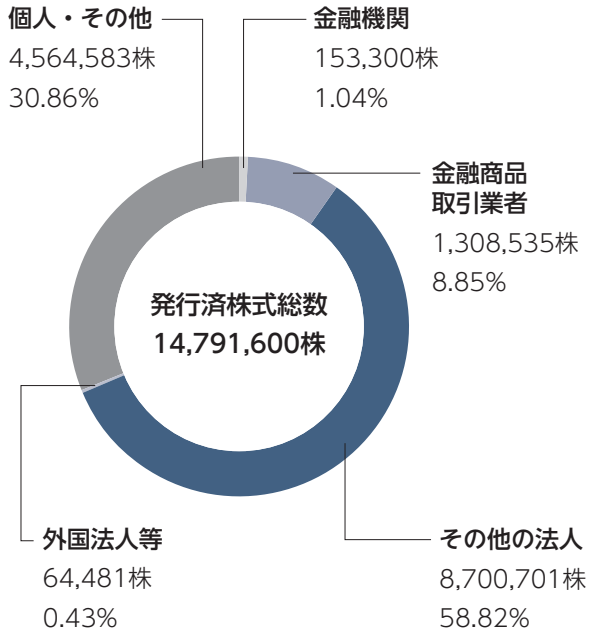
52,000,000株

発行済株式総数

14,791,600株

株主数

2,877名



会社情報 (2024年9月25日現在)

■ 会社概要

商号	株式会社ユビテック Ubiteq,INC.
設立	1977年11月17日
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布三丁目20番1号 Daiwa麻布テラス
資本金	941百万円
金融商品取引所	東京証券取引所（スタンダード）
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
証券コード	6662
従業員数	76名（連結）
連結子会社	株式会社ユビテックソリューションズ

■ 役員

代表取締役社長	大内 雅雄
取締役副社長	前川 淳
社外取締役	中澤 仁
社外取締役	早野 順一郎
取締役	佐藤 厚範
取締役	上谷内 祐二
常勤監査役	相田 佳隆
社外監査役	大月 将幸
社外監査役	井上 智英子

■ 株主メモ

事業年度
毎年7月1日から翌年6月30日までの1年間

基準日
定時株主総会、期末配当 毎年6月30日
中間配当 毎年12月31日

定時株主総会
毎年9月下旬

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1番1号
TEL.0120-232-711（通話料無料）

郵送先
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行 証券代行部

公告方法
電子公告 (<https://www.ubiteq.co.jp>)
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

